

【議案第66号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第3号

西山公園のイルミネーションを新たに設置するの？

400万円

説明 昨年中央広場に加え、イベント広場と嚮陽会館側の大階段に、新たにイルミネーションを設置する。また、提案型市民主役事業による噴水前広場のイルミネーション事業「ファミリンにしやま」と、街路樹のイルミネーションも同時に点灯させ、回遊性を持たせる。なお、点灯期間は、10月28日から12月25日までを予定している。

問 電気料金が高騰する中で、イルミネーションを新たに設置することについての考えは。

答 電気料金高騰の時期であるため、実施期間や点灯時間について協議をしていく。



電気料金高騰に配慮したイルミネーションの設置を

【議案第66号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第3号

広域定額タクシーの運行に向けた課題は？

400万円

説明 北陸新幹線 福井・敦賀開業後における観光客の利便性の確保を目的に、鯖江市と越前市の連携による広域定額タクシーの運行を行う。

旅行者を対象に、市をまたぐ観光地など各スポット間のタクシー料金を定額1,000円とし、実際の利用料金との差額を県と着地の市で負担する。

問 タクシーの確保が難しい状況だが、台数不足を緩和するための対策はあるのか。

答 タクシー事業者へのヒアリングにより、時間帯による台数不足が指摘されている。

今回はあくまで実証事業であるため、結果をデータ化し、事業者や越前市および今後参加の意向を示している自治体とともに課題解決に向けて協議し、来年度に反映させていく。



タクシーの台数不足を考慮した実証事業を

【議案第78号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第4号

観光客の好みに合わせたご当地グルメの開発とは？

700万円

説明 北陸新幹線 福井・敦賀開業が迫る中、国内外からの観光客の好みにマッチした受入れ環境を整備し、市内観光の魅力向上を図る。

国の補助事業を活用し、ご当地グルメの開発やモニターツアーの実施、観光ガイドの育成のほか、当初予算で計上した観光パンフレットのリニューアルを含めた事業である。

問 インバウンドの範囲は広く、国やニーズも様々だが、ターゲットや好みなどの研究は行っているのか。

答 観光庁や民間会社のデータによると、近年の県内のインバウンド傾向としては、関西、中部、小松空港を利用する台湾、香港、中国などのアジア系の観光客が多く、今後は新幹線を利用した欧

米からの訪日客の増加が見込まれている。また、データより、消費額が大きいアメリカや中国の訪日客をターゲットとして考えている。

今後、ワークショップやセミナー等を開催し、意見交換を行いながら、研究していく。

問 以前にB級グルメを開発し、普及を目指したが定着しなかった。今回のご当地グルメの開発は、どのような方向性を考えているのか。

答 各飲食店が共通のコンセプトを持ち、各店舗の味をより魅力的に打ち出すグルメを開発する方向で進めている。



ターゲットやニーズを研究した観光誘客を